

実施要項

宮古・八重山深堀りの歴史

～なぜ仲宗根豊見親は八重山を攻めたか～

- 1 日時：2020年9月26日（土）13：30～17：30
- 2 場所：講義；沖縄県合同庁舎 5階・宮古教育事務所 研修室
視察；仲宗根豊見親関連史跡
- 3 講師：宮古郷土史研究会 会長 下地 和宏 氏
- 4 内容：琉球王朝の正史である球陽等では、1500年に八重山を攻撃した理由として、“八重山のオヤケアカハチは毎年かかさず朝貢国として中山国へ貢物をしていたのに、それを2-3年断った。加えて臣民である宮古を攻めようとしたので、宮古の豊見親軍と中山軍との連合軍でこちらから攻めた。”と記されている。これらの歴史の背景には何があるのか、豊見親が八重山を攻めた本当の理由は？ 与那国島の女酋長のサンアイソバ、その後継者で宮古出自と言われる鬼虎の話も絡め、両方の立場から考える。
- 5 対象者：小学高学年・中学・高校生及び一般成人
- 6 参加人数：20人（要・事前申し込み）
- 7 要・事前申し込み（当日参加不可）
- 8 参加者負担：200円/1人（傷害保険料等）
- 9 進行

13:00	受付開始（沖縄県合同庁舎 5階研修室）
13:30-13:40（10分）	事務連絡
13:40-14:40（60分）	下地 和宏氏による講義
14:40-14:50（10分）	質疑応答
15:00-16:30（90分）	仲宗根豊見親関連遺跡視察 アンケート回答記入
17:00	解散

（計約3.5時間）